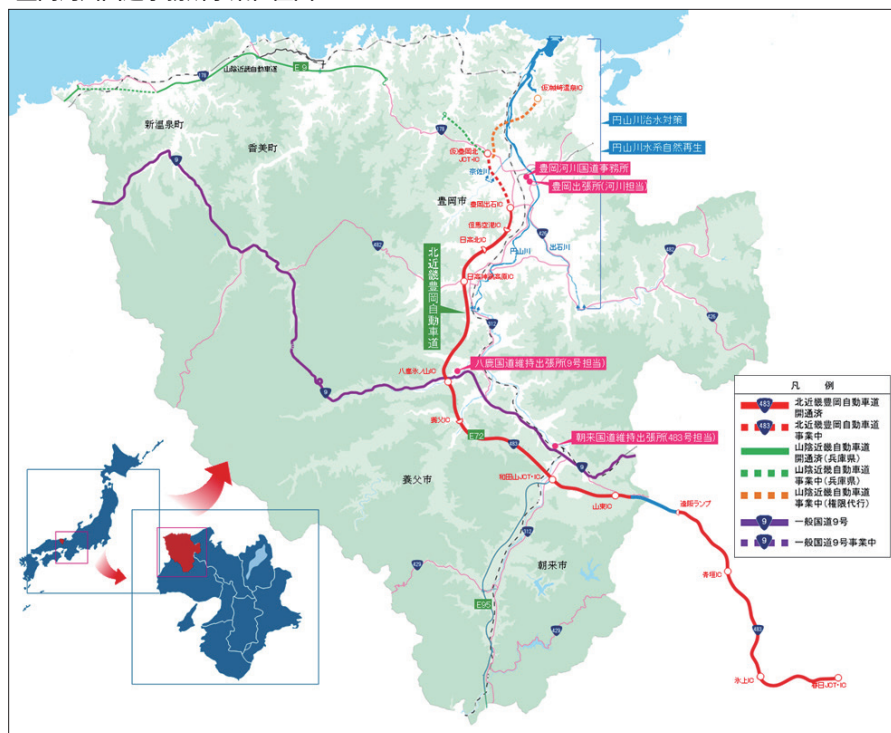


豊岡河川国道事務所の事業概要について

国土交通省 近畿地方整備局

豊岡河川国道事務所長 澤村 学

豊岡河川国道事務所事業位置図



はじめに

豊岡河川国道事務所は兵庫県北部の但馬地方に位置し、関係市町は、円山川関係では、円山川流域全域の3市〔国土交通省大臣管理区間（豊岡市）、兵庫県知事管理区間（養父市、朝来市）〕、国道483号（北近畿豊岡自動車道）関係では、4市（豊岡市、養父市、朝来市、丹波市）、国道9号関係では、2市3町（朝来市、養父市、香美町、新温泉町、鳥取県岩美町）、となっています。

但馬地方では豊かな自然を観光振興や地域連携に生かし、コウノトリ等の地域固有の資源を最大限に活用し、地域の活性化、まちづくりが行われています。

豊岡河川国道事務所は、こうしたまちづくりに必要な基盤づくりとして、安全安心を確保する円山川、京阪神圏との交流のための交通基盤となる国道

483号北近畿豊岡自動車道、地域の暮らしを支える国道9号の整備等を実施しています。

本稿では、当事務所所管している道路事業についてご紹介します。

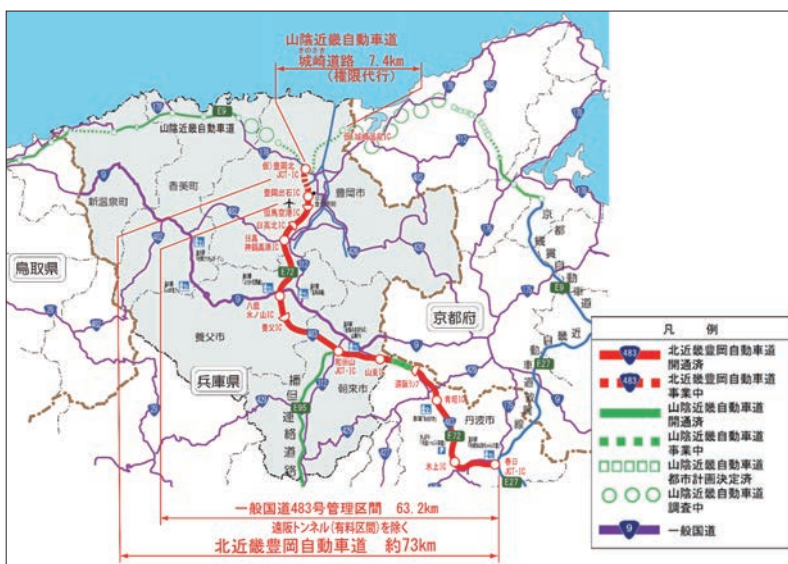
道路改築事業

京阪神圏からの時間距離を短縮し、産業や観光振興による地域の活性化、平成16年10月の台風23号による水害や平成18年豪雪等の災害に強い地域づくり、安全で安心して暮らせる交通安全の課題に対応するための道路整備に取り組んでいます。

北近畿豊岡自動車道

但馬地域と丹波地域、京阪神都市圏の連携を強化し、地域の活性化を支援する豊岡市から丹波市に至る延長約73kmの高規格幹線道路です。

春日JCT・ICから北へ順次整備を進めており、現在、豊岡出石ICまでの約68kmが供用済みです。未供用の約5kmは豊岡道路Ⅱ期として整備を進めています。



道路事業位置図



山陰近畿自動車道（城崎道路）

山陰近畿自動車道の一部区間を構成する城崎道路は、災害に強い道路ネットワークの確保、走行時間短縮による救急医療活動及び観光振興の支援を目的に国による権限代行により整備を進めています。

道路管理

国道9号（兵庫県内 L=71.0km）及び、国道483号（遠阪トンネルを除いた L=63.2km）の合計134.2kmについて維持管理をおこなうとともに、安全で円滑な交通の確保、第三者被害防止のため路面・橋梁・トンネルなどの構造物を定期的に点検しています。

また、安全で快適な通行区間の確保、都市景観の向上、地震や台風などによる電線類の断線及び交通阻害を未然に

防止するための電線共同溝事業、交通環境の改善と交通事故防止を図ることを目的に、歩道整備や交差点改良等の交通安全対策を実施しています。

冬期の安全かつ広域的な交通を確保するための除雪・凍結防止作業、雪に強い道路とするための散水・無散水融雪設備による路面融雪を実施しています。

国道483号では降雪によりノーマルタイヤでは安全に走行できないと判断した際は、大規模滞留の発生を未然に回避する取組として、冬用タイヤ規制、SNSを活用した情報発信をおこない冬期の交通確保に努めています。

インフラ DX

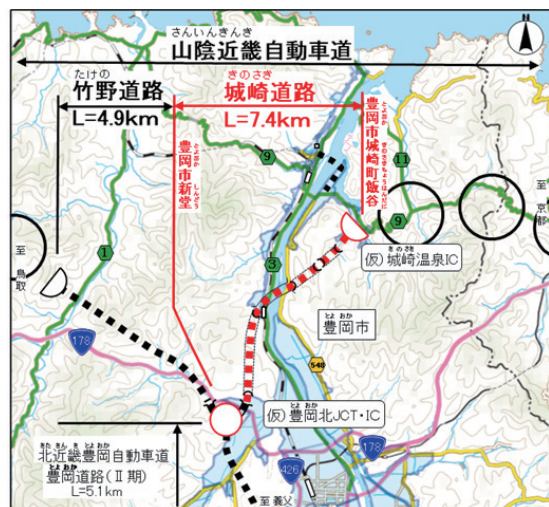
当事務所は i-Construction の取り組みをリードするモデル事務所となっており、インフラ DX を積極的に推進して

います。

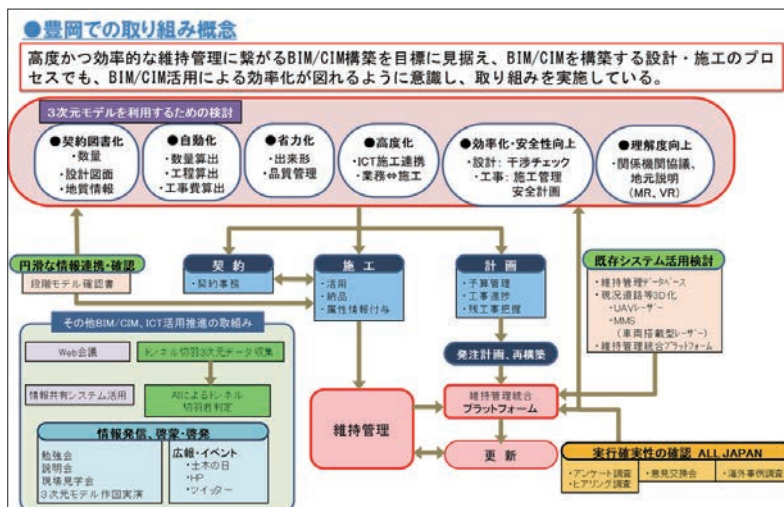
調査・設計から維持管理まで BIM/CIM を活用しつつ、3次元データの活用や ICT 等の新技術の導入を加速化させる『3次元情報活用モデル事業』として、「円山川中郷遊水地整備事業」「北近畿豊岡自動車道 豊岡道路（Ⅱ期含む）」において取り組みを行っています。

おわりに

当事務所では、豊岡道路Ⅱ期、城崎道路の他にも国道9号雪害対策を目的とした笠波峠除雪拡幅に取り組んでいます。今後も、但馬地域の発展と安全・安心の確保を支えるために、地域の皆様と連携を図りながら豊岡道路Ⅱ期、城崎道路の早期供用に向け取組を進めてまいります。



城崎道路位置図



DX 概念